

オンラインセミナー

事務所やご自宅で、研修を受講できます。

研修会場に集まる必要なく、それぞれ好きな場所で受講できます。



研修をライブ配信



講師・配信会場



※受講には、音声出力可能なパソコン・スマートフォン・タブレット等の端末と、インターネット環境が必要です。

- 弊社 専用スタジオから配信可能です。
- 主催者様が自ら配信する場合はご相談ください。

必要備品・運営方法等についてお気軽にご相談ください

wise

株式会社ワイズ

〒380-0803 長野市三輪1丁目8番14号 TEL:026-266-0710 FAX:026-266-0845

wisePDS

ワイズ公共データシステム株式会社

長野本社 〒380-0815 長野市 田町2120-1 TEL: 026-232-1145 FAX: 026-232-1190
北海道営業所 〒060-0001 札幌市中央区北1条西2-1 札幌時計台ビル11F TEL: 011-802-7685
大阪営業所 〒540-0026 大阪市中央区内本町2-4-16 オフィスポート内本町7F TEL: 06-6948-6615
福岡営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-4-8 ダヴィンチ博多シティ3F TEL: 092-292-8101
青森事業所 〒031-0075 八戸市内丸3丁目7番17号 プリマヴェーラB号 TEL: 0178-32-7715

オンラインセミナー実施方式

主催者様のご要望に合わせて 各種開催方式をとることが可能です

① 事務所・ご自宅で受講



② 研修会場と事務所・ご自宅で受講



③ 研修会場で受講



研修会場

プロジェクタ等を使用して聴講します

④ 集合研修を事務所・ご自宅でも受講



建設業関連研修会のご提案

オンラインセミナー対応(集合形式もできます)
事務所、ご自宅でもご受講できます！

2021年4月

NEW

経審改正のポイント

CPD・能力評価基準・建設業経理士等 改正の要点



講師派遣 **無償**



オンライン配信機材等
弊社で用意できます

wise
wisePDS

株式会社ワイズ
ワイズ公共データシステム株式会社

研修内容について

	研修内容	時間
1	《NEW》2021年4月 経審改正のポイント	1～2時間
2	建設業法等改正のポイント	1～2時間
3	財務諸表作成の留意点 ～よくある問い合わせ事例～	1.5～3時間
4	財務諸表作成実習 ～決算書から建設業財務諸表を作成する～	財務諸表作成の留意点 と合わせて 2～3時間
5	財務諸表作成＜上級者様向け＞特殊経審事例等	1～2時間
6	経営状況分析(Y)評点のポイント	1～2時間
7	経審(P)評点のポイント	経営状況分析(Y)評点の ポイントと合わせて 2～3時間
8	経審・建設業許可の基礎	2～3時間
9	経審・建設業許可ソフト操作研修	2～3時間
10	経審・建設業許可ソフト操作研修《書式デザイン編》	2～3時間
11	総合評価方式入札制度について	1.5～3時間
12	工事成績評点のポイント	1.5～3時間
13	公共土木工事の事務手順 入札から竣工までの書類作成	2～3時間

2021年 経審改正のポイント

所要時間: 1~2時間

初級~中級

■ 2021年4月改正 W点
継続学習(CPD)取得状況の評価
 技術者1人当たりのCPD単位取得数を評価

■ 2021年4月改正 W点
能力評価基準 レベルアップの評価
 技能者の3年間でのレベルアップにより加点

■ 2021年4月改正 W点
建設業経理士は講習を受けた
登録建設業経理士のみが評価対象に

■ 2021年4月改正 Z点
監理技術者を補佐する資格を有するもの(主任技術者資格+1級技士補)を加点対象に

2021年4月、W点にCPD単位、能力評価基準レベルアップが新たに加点対象に、また建設業経理士は講習を受けた登録建設業経理士のみが加点対象となりました。経審評点改正にいち早く対応できるように改正のポイントを解説する講習会を開催します。

技術力(Z) 技術職員数(Z1)の改正

その他の審査項目(社会性等)(W)改正について

知能及び技術又は技能の向上に関する取組の状況(W10)の評価(案)

$$W_{10} = (\text{技術者} \times \text{技術者点}) + (\text{技能者} \times \text{技能者点})$$

技術者点(10点満点) / 技能者点(10点満点)

技術力(Z) 技術職員数(Z1)の改正

建設キャリアアップシステムにおいて以下のレベルを取得した者を技術職員数(Z1)の技術職員区分・資格に追加し、所要の評点を付与する。

技術職員区分	レベル	所要の評点
主任技術者	レベル4	3点
	レベル3	2点
主任技術者補佐	レベル4	3点
	レベル3	2点
主任技術者補佐	レベル4	3点
	レベル3	2点
主任技術者補佐	レベル4	3点
	レベル3	2点

※ 2020年4月9日現在

研修2

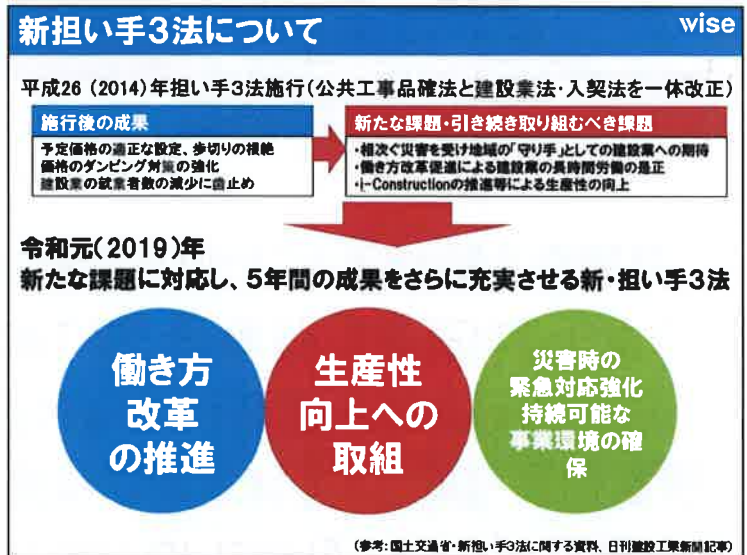
建設業法等改正のポイント

所要時間: 1~2時間

初級~中級

2019年6月 新・担い手3法として建設業法、品確法、入札契約法の3法が改正されました。働き方改革・生産性向上・災害対応を主な柱としていますが、徐々に具体的な内容が施行されています。

経営業務管理責任者の要件見直し、社会保険加入の許可要件化、経審の改正等の行政書士先生の業務に直結する内容から、検定制度の見直し、工期の基準、監理技術者の専任義務緩和、主任技術者の配置合理化までポイントを解説します。



1. 建設業許可基準の見直し wise

経営業務の管理責任者要件の見直し(案)

国土交通省令で定める基準に適合する者として以下①と、適切に社会保険加入の両方を満たす者であることを求める予定。

①建設業に係る経営業務の管理を担当する常勤の役員として、以下のいずれかの者を置くこと。

- (1) 建設業の経営に関する経験が5年以上有している者
(業法の「経営業務管理責任者」)
<同一工種>・役員等5年・執行役員等6年・従業業務補佐経験6年
<他工種>・役員等6年
※上記の要件を緩和することについても今後検討
- (2) 建設業の経営に関する経験又は管理業務の経験を5年以上有している者
<経験の拡大> **役員を補助する者の配置**
...建設業の経営業務を補佐してきた経験を有する者等を役員の前助者として相応の地位に配置する
- (3) 建設業以外の業種の経営に関する経験が5年以上有している者
<対象業種の拡大>

(参考:国土交通省「新担い手3法に関する資料」, 日刊建設工業新聞記事)



研修3

財務諸表作成の留意点 よくある問い合わせ事例

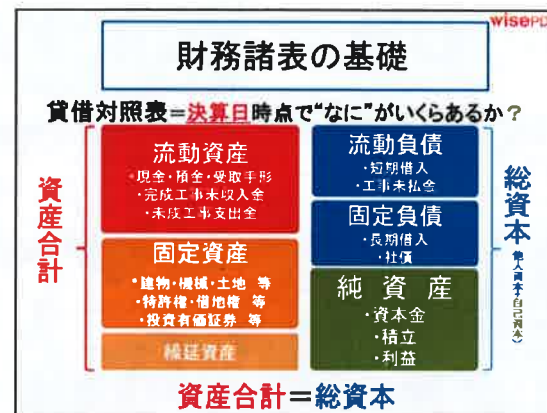
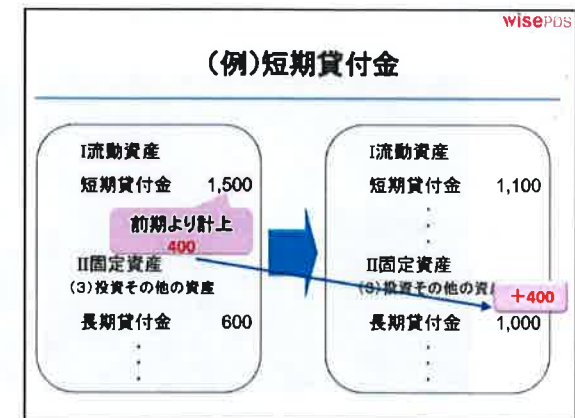
所要時間: 1.5~3時間

初級~中級

建設業財務諸表の作成方法、留意点について解説します。
分析申請にてよくいただくご質問の例や、修正をお願いすることが多い事例を紹介します。

またQ&A方式の資料の用意し、例をご覧いただきながら理解を深めることができます。

経審・分析申請の基礎的な内容から、消費税込み決算書を税抜きに変換する際の留意点についてなど、初級~中級まで内容についてはご相談に応じます。



研修4

財務諸表作成実習 決算書から建設業財務諸表を作成する

所要時間:2~3時間(研修1と合わせて)

初級~中級

税務申告用決算書から建設業財務諸表を作成する実習を含んだ研修です。
よくある質問や留意点を取り入れた練習問題に取り組んでいただく内容です。
初級・中級等に合わせて数種類の実習を用意しています。



実施内容についてはご相談に応じます。

- 税抜き決算書→税抜き財務諸表作成
- 税込み決算書→税抜き財務諸表作成
- 兼業事業がある企業の財務諸表作成

Three screenshots of financial statements, likely from a software application. The first screenshot shows a table with columns for '科目' (Account) and '金額' (Amount). The second screenshot shows a detailed table with multiple columns for financial data. The third screenshot shows a summary table with columns for '科目' and '金額'.

研修5

財務諸表作成<上級者様向け> 特殊経審での分析申請

所要時間: 1~2時間

中級~上級

仮払税金、設立時経審、決算期変更、個人承継法人成り、合併経審、譲渡経審、分割経審等での経営状況分析申請について解説します。

経審・経営状況分析申請の実務経験をお持ちの方向けの内容です。

1. 合併原則

合併日: 平成30年12月1日
A社(存続会社): 7月決算
B社(消滅会社): 3月決算

審査基準日 → H29.12.1
審査対象(当期) → H28.12.2~H29.12.1(繰理の区分①:00 ②:11)
審査対象(前期) → H28.8.1~H28.7.31
審査対象(前々期) → H27.8.1~H28.7.31

★分析の対象期間の設定には(原則)「当(前)期」がある。

決算期変更

<申請時に必要となる書類>
通常の申請書類 + 換算報告書

損益計算書関係について実事業年度換算報告書 = 分と前期より不足月数分の実績を加算し、12か月に換算する書類

平成29年7月末決算
平成30年3月末決算

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

※申請書記載は決算日から遡って1年分まで表記。(繰理の区分①②)
前期以前については実事業年度を表記します。



2. 譲渡

会社ごと売買するのではなく、会社の中身の内、必要な事業に関連する資産・負債のみを売買します。

研修6

経営状況分析(Y)評点のポイント

所要時間: 1~2時間

初級~中級

経営状況分析評点(Y評点)のポイントを解説します。

経営状況分析の8項目①純支払利息比率、②負債回転期間、③総資本売上総利益率、④売上高経常利益率、⑤自己資本対固定資産比率、⑥自己資本比率、⑦営業キャッシュ・フロー、⑧利益剰余金について、各評点の計算式や評点のポイントについて解説します。

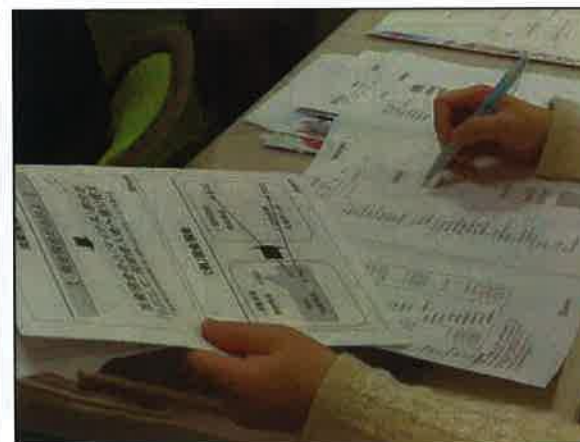
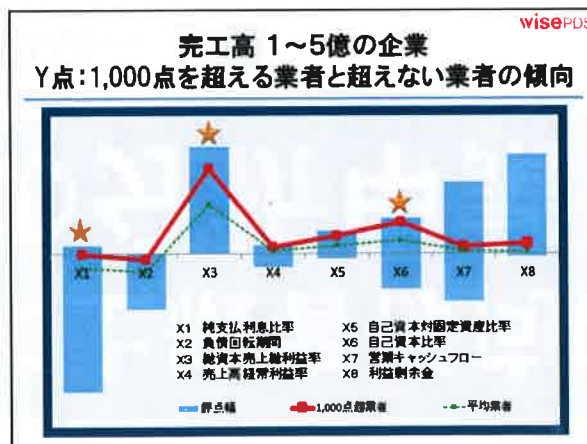
また高得点を獲得している企業がどこで評点が取れているのか、高得点をとれている企業の傾向についてもデータをご覧ください。

X1. 純支払利息比率 wisepDS 寄与度 29.9%

(支払利息 - 受取利息配当金) / 売上高 × 100
※ 上限値 -0.3 下限値 51

$$\frac{\text{支払利息} - \text{受取利息及び配当金}}{\text{売上高}} \times 100(\%)$$

純支払利息(実質的な利息負担額)が売上高に占める割合を示す指標。
有利子負債の期中の平均残高借入利率の違いを反映した数値。



研修7

経審(P)評点のポイント

所要時間:2~3時間(研修4と合わせて)

初級~中級

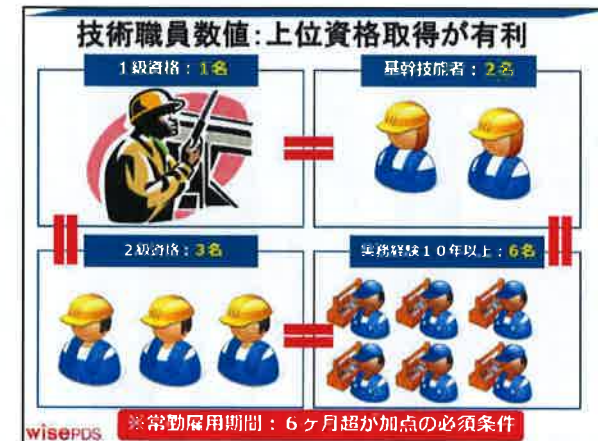
経営事項審査の総合点数は、以下5項目に細分化された点数の合計点で算出されます。

- X1 : 工事種類別年間平均完工高評点
- X2 : 「自己資本」及び「平均利益額」評点
- Y : 経営状況分析評点
- Z : 技術力評点

(技術者数及び工事種類別年間平均元請完工高)

- W : その他審査項目(社会性)評点

経審評点について具体的な数値を交えて解説します。



経審 総合評点(P)=5項目で評価

項目	評価項目	最高点	最低点	係数
X1	工事種類別年間平均完工高	2,300	307	0.25
X2	自己資本額及び平均利益額	2,280	454	0.15
Y	経営状況分析評点	1,995	0	0.2
Z	技術力評点 (技術職員数/工事種類別年間平均元請完工高)	2,441	456	0.25
W	その他審査項目(社会性等)	1,995	▲1,995	0.15
P	総合評定値	2,143	▲18	

研修8

経審・建設業許可の基礎

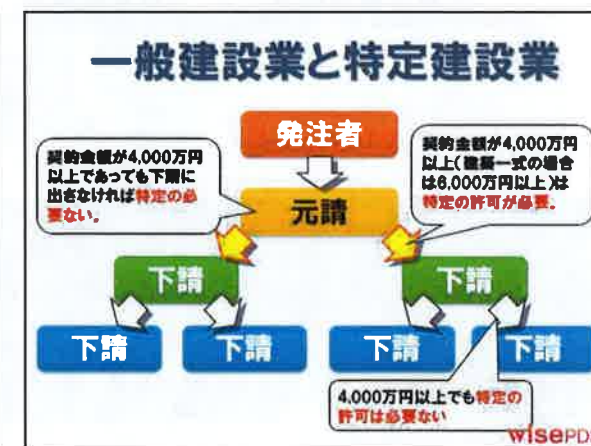
所要時間:2~3時間

初級

建設業の概要から、建設業許可・経営事項審査の概要についての研修です。

新入会員様、建設業業務をこれから始められる先生方が対象の内容です。

1. 建設業許可・経審・入札参加の概要
2. 建設業許可申請
 - ・建設業許可業種、許可要件、一般・特定建設業、大臣・知事許可等
 - ・建設業許可申請の流れ
3. 経営事項審査・経営状況分析
 - ・経審、分析申請の流れ
 - ・経審評点計算方法(概要)



研修9

経審・建設業許可ソフト操作研修

所要時間: 2~3時間

初級~中級

ワイズ公共データシステムが無料で提供しております「電子申請支援システム」のパソコンを操作しての研修会です。

経営状況分析、経審の申請書類の作成方法、経審評点シミュレーション、経営状況分析の電子申請までの一連の流れをインストラクターに合わせて操作を体験していただきます。

研修に必要なパソコンを20台、弊社にて準備いたします。

パソコンはお持ち込みいただくこともできます。



研修10

経審・建設業許可ソフト操作研修 《書式デザイン編》

所要時間:2~3時間

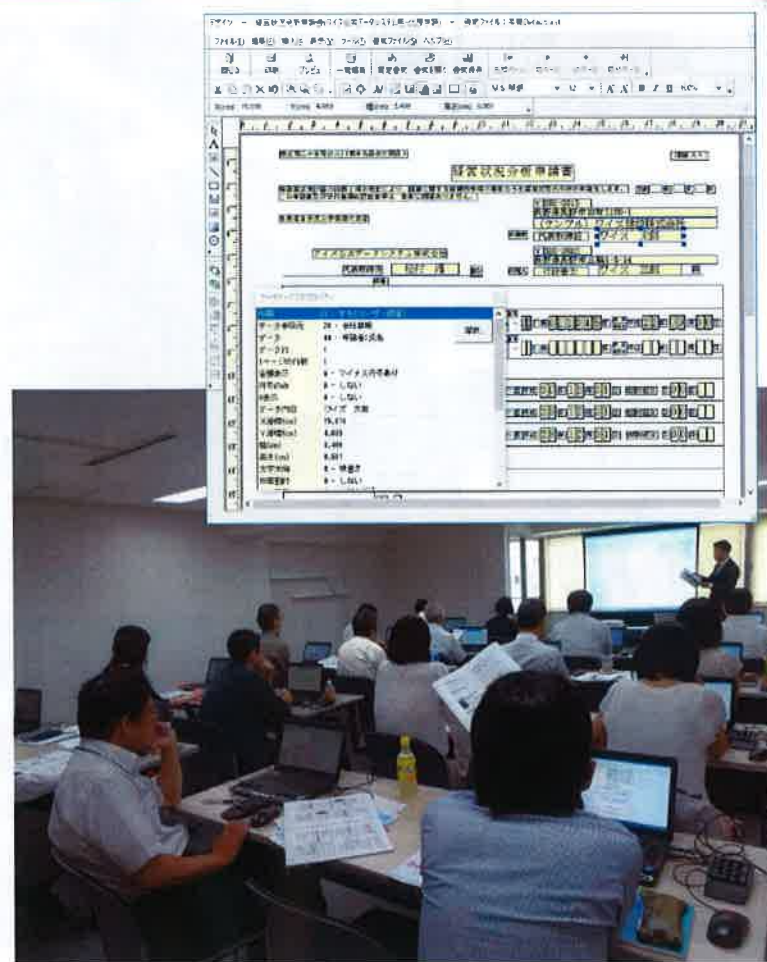
中級

「電子申請支援システム」をご利用されている先生方向けのパソコン操作研修会です。

「電子申請支援システム」では「書式デザイン機能」を使用して独自に書類を作成することができます。この研修では主に書式の作成方法について実習を行います。

研修に必要なパソコンを20台、
弊社にて準備いたします。

パソコンはお持ち込みいただく
こともできます。



研修11

総合評価方式入札制度について

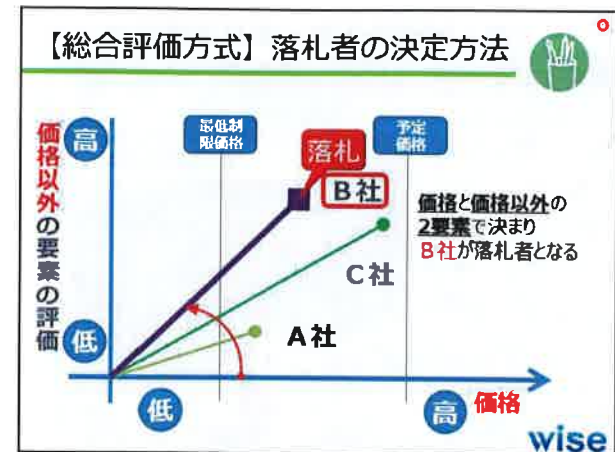
所要時間: 1.5~3時間

中級~上級

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の施行後、発注者に「価格と品質」が総合的に優れた契約が義務づけられました。

その結果、施工計画や工事成績評点を中心とする主観点が、企業評価や入札時に重視されるようになり、かつ強い建設会社の定義が明確化されつつあります。

「価格と品質」に優れた企業が落札する「総合評価方式入札制度」の概要から、総合評価方式入札での評点算出方法について実習を含めて学びます。



【実習2】
入札結果を確認し、落札業者に○をつけます。

資料2 P1

ヒント: 総合評価方式では、「評価値」が最高の業者が落札。

入札番号	入札総額	総合評価	価格	品質	落札業者
1	248,942,200円	0.2012	17,0500	17,2013	
2	225,129,205円	0.9410	16,5000	28,4410	
3	225,131,400	0.9410	16,5000	28,4410	○
4	225,129,487	0.9418	3,0000	12,9418	
5	225,104,400	0.9519	16,0000	25,9518	
6	225,129,564	0.9417	16,0000	25,9417	
7	236,440,000	0.8172	16,0000	21,8172	

価格が安いだけでは落札しない
逆転

資料2 P3-4

価格以外点について

No.	最高点	内容	記点	得点
7	1.5	実績等	1.5	1.5
8	1	継続教育 (CPD)	1	1
9	0.5	電子納品	0.5	
10	1.5	労働環境	1.5	
合計	17.5			

研修12

工事成績評点のポイント

所要時間: 1.5~3時間

中級~上級

「総合評価方式入札」では、工事成績評点やそれに伴う優良工事(技術者)表彰の受賞の配点が大きなウェイトを占め、建設企業にとっては工事成績で高得点を獲得することが受注につながります。

この研修では、工事成績評点の計算方法から、建設企業が取り組んでいる工事成績評点対策アップ対策を実習を交えて学びます。

1. 工事成績評点の概要
2. 工事成績評点の計算実習
3. 工事成績対策、工事成績の逆算シミュレーション

工事成績評定 分析・改善表

項目	評価	評点	満点
Ⅰ. 施工管理	9.4	3.3	3.3
Ⅱ. 工程管理	6.1	4.1	6.1
Ⅲ. 安全対策	6.5	9.4	13.9
Ⅳ. 対外関係	3.3	6.1	6.1
総合	12.1	6.5	6.5
総合	12.1	3.3	3.7
総合	12.1	12.1	14.9

【Ⅰ. 施工管理】: 9.4点
⇒ 主任技術評価官(①): c評価
技術検査官(③): c評価

【Ⅱ. 工程管理】: 6.1点
⇒ 主任技術評価官(①): c評価
総括技術評価官(②): c評価

【Ⅲ. 安全対策】: 6.5点
⇒ 主任技術評価官(①): c評価
総括技術評価官(②): b評価

【Ⅳ. 対外関係】: 3.3点
⇒ 主任技術評価官(③): b評価

実習: 「施工体制一般」①
施工プロセス 施工体制台帳・施工体系図
(n) 施工体系図を現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げている。

現場事務所と作業現場が離れている場合などは2か所に設置しているか?

実施されていることを写真で確認・チェック。

工事成績採点者 (地方整備局工事)

主任技術評価官
竣工期間中 日常的なやりとり
担当監督官

技術検査官
発注側の検査部門 担当者
完成検査員

総括技術評価官
(発注側の) 事務所長

セミナー実施方法

開催費用は全て“無料”

講師派遣料・謝礼 旅費・往復交通費 } すべて“無料”
配布資料作成費用

- ※会場のお手配と会員様へのご案内についてご協力ください。
- ※プロジェクタ・スクリーンの弊社での手配も可能です。
- ※パソコン操作研修会でのパソコンは弊社にて20台まで用意できます。
- ※実習を含む内容の場合、筆記用具、電卓をご持参ください。

研修内容・時間例（ご相談ください）

通常	受付開始	13:00	受付開始
	研修会	13:30～16:30(3時間)	

無償システム配布

ご出席の皆様全員に「電子申請支援システム 建設業統合版」を無償で配布させていただきます。

wise

株式会社ワイス

<http://www.wise.co.jp/>

〈本社〉

〒380-0803

長野市三輪1丁目8番14号

TEL : 026-266-0710

FAX : 026-266-0845

info@wise.co.jp

<http://www.wise.co.jp/>

ワイス/ワイス公共データシステム

〈ソフトウェア サポートセンター〉

TEL : 026-266-0792

wisePDS

ワイス公共データシステム株式会社

登録経営状況分析機関 登録番号4

<http://www.wise-pds.jp/>

〈本社〉

〒380-0815 長野市田町2120-1

TEL : 026-232-1145 FAX : 026-232-1190

〈北海道営業所〉

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西2丁目1

札幌時計台ビル11階

TEL : 011-802-7685 FAX : 011-802-7814

〈大阪営業所〉

〒540-0026 大阪市中央区内本町2丁目4番16号

オフィスポート内本町7階

TEL : 06-6948-6615 FAX : 06-6948-6685

〈福岡営業所〉

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-4-8

ダヴィンチ博多シティ3階

TEL : 092-292-8101 FAX : 092-292-8125

〈青森事業所〉

〒031-0075 青森県八戸市内丸3丁目7番17号

プリマヴェーラB号

TEL:0178-32-7715 FAX:050-3142-2002

研修会ご依頼・お問合せ用紙

研修会についての説明等のご依頼は以下よりご依頼ください。

番号	研修内容	↓○をつけてください	
		実施したい	話しを聞きたい
1	《NEW》2021年 経審評点改正のポイント		
2	建設業法等改正のポイント		
3	財務諸表作成の留意点 よくある問い合わせ事例		
4	財務諸表作成実習 決算書から建設業財務諸表を作成する		
5	財務諸表作成<上級者様向け> 特殊経審での分析申請		
6	経営状況分析（Y）評点のポイント		
7	経審（P）評点のポイント		
8	経審・建設業許可の基礎		
9	経審・建設業許可ソフト操作研修		
10	経審・建設業許可ソフト操作研修 《書式デザイン編》		
11	総合評価方式入札制度について		
12	工事成績評点のポイント		
13	公共土木工事の事務手順 入札から竣工までの書類作成		

貴会名	
ご住所 〒	
ご担当者様	ご役職
お電話番号	()
FAX	()
メールアドレス	@

必要事項をご記入の上、FAXにてご送信ください。その他、お電話・メールでもお気軽にお問合せください。

株式会社ワイズ FAX 026-266-0845

wise

株式会社ワイズ 〒380-0803 長野市三輪1丁目8番14号 TEL:026-266-0710 e-mail : info@wise.co.jp

wisePDS

ワイズ公共データシステム株式会社 本社 〒380-0815 長野市 田町 2120-1 TEL : 026-232-1145 FAX : 026-232-1190

北海道営業所 〒060-0001 札幌市中央区北1条西2-1 札幌時計台ビル11F TEL : 011-802-7685 FAX : 011-802-7814

大阪営業所 〒540-0026 大阪市中央区内本町2-4-16 オフィスポート内本町7F TEL : 06-6948-6615 FAX : 06-6948-6685

福岡営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-4-8 ダヴィンチ博多シティ3F TEL : 092-292-8101 FAX : 092-292-8125